

## 第4回 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 会議録

開催日時 令和3年7月28日(水)午後2時から午後4時まで

開催会場 渋川市役所第二庁舎202会議室

出席者 渋川市上下水道事業の経営に関する協議会 委員9名

欠席委員 松井委員・赤澤委員・浅野委員

事務局 15名

1 開 会 進行：総務経営課総務企画係 堀口

2 委嘱状交付 角田委員

3 挨拶 渋川市長 高木 勉

4 自己紹介 角田委員

5 議 題 議事進行：阿部会長

### 【報告事項】

(1) 6月市議会定例会経済建設常任委員会協議会への報告内容について《参考》

説明：儘田総務経営課長から次第、資料について説明

\* 出席委員から、令和2年度の純利益について質疑。

\* 質疑について事務局から回答した。

### 【協議事項】

(1) 水道料金の改定に関する提言書(案)について

説明：儘田総務経営課長から次第、資料について説明

\* 出席委員から、記載の修正、改定率の根拠等の意見、質疑があり。

\* 各質疑について事務局から回答した。

( 2 ) 渋川市の下水道事業の概要（現状と課題）について《資料1》

説明：儘田総務経営課長から次第、資料について説明

\* 出席委員から、合併時の料金統一、各事業の費用の差異と管轄、水洗化率、使用料で運営できる料金設定すべき等の意見、質疑があり。

\* 各質疑について事務局から回答した。

( 3 ) その他

地方創生整備推進交付金に係る地域再生計画の事後評価について

説明：儘田総務経営課長から次第、資料について説明

\* 出席委員から意見、質疑等なし。

4 その他

\* 次回協議会を11月上旬に開催したい。

7 閉 会 総務経営課総務企画係 堀口

## 報告事項

(1) 6月市議会定例会経済建設常任委員会協議会への報告内容について《参考》

事務局	次第、資料に基づいて説明
委員	令和2年度決算は精査中とのことだが、概要でいいので報告をお願いします。
事務局	約140万円の赤字になります。

## 協議事項

議題(1) 水道料金の改定に関する提言書(案)について

事務局	次第、資料に基づいて説明。
委員	10%前後の改定は、バックデータがあつての10%なのでしょうか。
事務局	経営戦略の中で、当面の間1億3000万円程度の収入が確保できればとあり、確保できる料金改定の目安としては、10%を少し越えるぐらいが適当であります。次期改定を見越してあまり料金を上げないほうがいいと考え10%前後ということです。
委員	10%前後という表現より10%程度という提案をします。9月中旬を目途に、提言書を提出をさせていただきます。

議題(2) 渋川市の下水道事業の概要(現状と課題)について《資料1》

事務局	次第、資料に基づいて説明。
委員	料金統一は、どこに基準を持っていったのでしょうか。
事務局	渋川市がもとになり、他地区は段階的に上げていったということになっております。
委員	渋川市の下水道料金は高かったのでしょうか。
事務局	合併時の下水道使用料については、1か月20m <sup>3</sup> で計算した場合で、北橘、赤城が2,310円。小野上が2,000円。渋川が1,920円。子持、赤城のコミプラが1,900円、伊香保は1,000円。一部統一しながら最終的に1,920円。基本料金は630円に統一させてもらったとのこと。
委員	公共下水道にかかる費用と、他の事業と施設管理の費用は違ってくるのではないですか。
事務局	事業ごとに料金に反映されているということにはなっていません。
委員	すべて一緒にするのはおかしいのではないのでしょうか。
事務局	ご意見として承りたいと思います。改善ができるのであれば、料金改定にあたって考えなくてはならないと思います。
委員	なぜいろんな官庁の管轄になってるのでしょうか。

委員	<p>省庁ごとに縦割りでした。今は、それらを効率的、コスト的な観点から「汚水処理施設」として広域化・共同化ということで、国が4省連名で取り組んでいます。</p> <p>渋川市は公営企業会計に移行したので、使用料でまかなえる運営をするために、将来を見据えた料金設定をすべきだと思います。</p>
委員	<p>資料だと15億円、一般会計から繰り入れてますが、渋川市の予算規模はどのくらいなのでしょう。</p>
事務局	<p>当初予算ベースでいくと330億円になります。</p>
委員	<p>渋川市の水洗化率のところ、全体で83.03%ということで、各事業区分ごとに結構ばらつきがある。要因は为什么呢。</p>
事務局	<p>渋川市全体で、83.03%になっていますが6事業それぞれで計算をしています。</p> <p>市街から離れるほど、接続率が落ちてしまうということが要因だと思われます。</p>
委員	<p>この接続率は徐々に上がってきているのでしょうか。</p>
事務局	<p>微増です。</p>
委員	<p>水洗化率を今後上げていくための課題はありますか。</p>
事務局	<p>今、渋川市でおよそ5000件ほどが未接続です。</p> <p>5年間で市内全域を一巡できるように、職員が個別訪問をして接続を呼びかけています。</p>

委員 下水の引き込みに対して補助金等の助成は行っているのですか。

事務局 現在、引き込みについての補助は行っていませんが、貸付金という制度があります。

委員 今後、経営を変えていくというような説明でしたが、具体的にはどういったことなのか。

事務局 地方公営企業会計法を適用したことで、市で行っている特別会計ではありますが、今度は、より独立性の高い会計に移ったということになっています。企業会計になった後は、自分たちの口座を用意して管理してる体制になっています。

委員 渋川市の場合の収入の割合は、他の自治体の下水道経営と比べると同じような感じですか。

事務局 一般会計繰入金の割合がかなり高いと認識をしています。

委員 全国的にはどうなのでしょう。

委員 実際県内の事業体で黒字はごく一部です。  
下水道の使用料が多ければ下水道を経営運営するには有利で、維持管理は使用料で補い、一般会計の繰り入れは少なくするのが理想です。

委員 事業債の方の期間は何年債ですか。

事務局 通常30年の償還で、借り入れを行っています。

委員	6つの下水施設で、上水の使用料に応じて下水道使用料が算出されてるということで、金額の上下はないということによるのでしょうか。
事務局	6事業ですけど、個別の排水処理につきましては、浄化槽なので電気使用料等の関係がありますので、若干金額は変わっていますが、公共、特環、コミプラ、農集とは水道料金に応じて同じになっています。
委員	上水道と下水道はどちらの方がコストがかかるのでしょうか。
事務局	本市で言えば水道事業に対して倍ぐらい、下水道に費用としてかかっています。

### 議題（3）

#### 地方創生整備推進交付金に係る地域再生計画の事後評価について

事務局	次第、資料に基づいて説明。
委員	こちらの事後評価について、委員会としてはこの表現によるでしょうかということでもとめさせていただきます。

### その他

#### 7 閉会

事務局	次回の日程につきましては、11月の上旬に予定したいと思っています。
-----	-----------------------------------